

TOPICS

「森と湖に親しむ旬間」

綾里川ダム湖畔集いのイベント

7月30日

大船渡地方振興局

前日の雨もあがり、どうにか実施することができました。今年のイベントは盛りだくさん。まずは、開会式後にみんなで記念植樹。そして綾里川ダム施設の開放を行い、ダム管理所や普段見る事の出来ないダムの底（ダム点検のための通路）の見学をしました。また、森林の働きについてパネルが展示され、ダム湖周遊タイム宣言ウォーキング、気仙スギ丸太切り競争、積み木競争などの競技も実施。ダム湖周遊タイム宣言ウォーキングは、ダム湖を2周（2 km）して申告タイムとゴールしたタイム差が最も少ない人から順番を決める競技です。気仙スギ丸太切り競争は男性4人女性4人ずつの参加ですが、スギの太さもくじ引きで決まるので、細い木のくじを引いた人は有利になります。また、積み木競争は、崩れないように2分間でどのくらいの高さまで既に輪切りにしているスギの切れ端を積めるかを競うもので、子供達の駆け引きが勝負を分けました。わたあめ、水ヨーヨーコーナー、昼時には野形町内の皆さんによる綾里大権現の披露もあり拍手喝采。地域の皆さんの協力をいただきながら、楽しいイベントが開催できました。



丸太切り競争



みんなで記念撮影 はいチーズ

■ 問い合わせ先

大船渡地方振興局土木部

TEL: 0192-27-9919

「北の道クリーンキャンペーン」

7月19日

二戸地方振興局

北の道クリーンキャンペーン活動を「岩手県建設業協会二戸支部青年部」と「岩手県建設業女性マネジングスタッフ協議会二戸支部」と二戸地方振興局との協働で行いました。この活動は、今年で14回目になるもので、例年、道の日の行事として行っています。

振興局からは、43名の職員が参加し、二戸市中心部の商店街を通る県道二戸一戸線の他5路線約42kmの主要路線でゴミ・空き缶拾い等を行いました。

また、これとは別に、建設業協会二戸支部会員37名の方々には、管内市町村の待避所等を中心に道路清掃を行っていただきました。



まずは出発式



ゴミ拾いの様子

■ 問い合わせ先
二戸地方振興局土木部
TEL : 0195-23-9209

北山トンネル（仮称）の下り線が貫通しました

7月26日 盛岡地方振興局

一般国道455号（仮称）北山トンネルの下り線が貫通しました。トンネルの長さは約950m、平成16年8月に掘削を開始してから1年11ヶ月の歳月を経て貫通しました。これから上下線2本のトンネルが最も接近する区間に入り、上り線では、極めて慎重に工事が進められます。順調に行けば、上り線も12月頃に貫通する予定です。



■ 問い合わせ先
盛岡地方振興局土木部
TEL : 019-629-6641

河川愛護団体等感謝状贈呈式

7月28日 河川課

県土整備部では、河川愛護思想の一層の普及を図るため、例年、河川愛護月間である7月に、多年にわたり河川環境の美化保全等に努められた民間団体や個人に対し感謝状の贈呈を行っています。

今年度は、雫石町立御明神小学校に対し知事感謝状を贈呈しました。

受賞者

■ 雫石町立御明神小学校

同校では、平成3年から夏の子供会行事として竜川清掃の取組みを始め、平成6年からは、全校児童・職員とPTAが協力して継続実施してきました。また、平成15年からは、雫石中学校や雫石高等学校の生徒・父兄、雫石川漁業協同組合等からも清掃活動への参加を得て活動の輪が広がるなど、河川環境の美化保全と河川愛護思想の普及に尽力されています。



■ 問い合わせ先
河川課
TEL : 019-629-5902

TOPICS

道路写真コンテスト

7月18日

道路建設課

第29回(2006)東北地方道路写真コンテスト(東北地方道路広報連絡会議主催)の入賞作品が決まりました。東北各県から3873点の作品の応募があり、「一般の部」では、最優秀作品賞、特別優秀作品賞に次ぐ、優秀作品賞に3点が、入賞に7点が選ばれるなど、多くの作品が受賞しました。

「一般の部」優秀作品賞受賞者

- ・ 小田健三さん(盛岡市)
- ・ カマタニ ヒサトさん(普代村)
- ・ 相沢正吉さん(金ヶ崎町)

※写真は、今後、県土づくりニュースの表紙(冬)で紹介します。お楽しみに。

■ 問い合わせ先

道路建設課

TEL: 019-629-5866

チョウセンアカシジミ観察会

7月11日

宮古地方振興局(職員研修)

チョウセンアカシジミは、大きさや形がシジミ貝と似ていることからこの様な名前が付けられたものです。

岩手県では、田野畑村及び宮古市の沿岸地域並びに雫石町などに生息しており、いずれの地域においても開発が進み、蝶の数が減っているのが実情です。

宮古地方振興局土木部では、過去にチョウセンアカシジミの食木であるデワノトネリコを無断伐採し、地域に多大な迷惑をかけたことがありました。

このため、公共事業に携わる職員としてこの意識が風化することなく、また稀少野生動物の啓蒙を図る観点から恒常的に観察会を開催しております。

観察会は、宮古市田代川流域を会場として7月11日に開催し、チョウセンアカシジミの会代表の尾形氏からの説明とともに、チョウセンアカシジミの飛翔から産卵までを観察し、自然の営みに触れ感動を味わうことが出来ました。



尾形氏の説明を聞く土木部職員



羽を休めるチョウセンアカシジミ

■ 問い合わせ先

宮古地方振興局土木部

TEL: 0193-64-2221

県事務の市町村への権限移譲に関する意見交換会

7月21・26・28日

県土整備企画室

社会資本整備を、市町村と県がどのように協働して進めていくか、そして、市町村合併など地方分権に向けた体制整備が進み、まちづくりや行政サービスを総合的に提供する「市町村中心の行政システム」の構築が求められている中で、「県事務の市町村への権限移譲」をテーマに、市町村職員と県職員による意見交換会を開催しました。

道路工事・河川工事・道路の維持管理などに先行的に取り組んでいただいた市町から事例発表していただいた後、活発な意見交換が交わされました。住民にとっては、県道も市町村道も道路は道路、この冬は大雪に見舞われたこともあり、除雪についての意見が多く出されました。

■ 問い合わせ先

県土整備企画室

TEL：019-629-5846



ファシリテーター研修（県土整備部部内研修）

7月28日

県土整備企画室

県土整備部では、社会資本の整備と活用を通じた地域づくりを進めるうえで、県民（地域・市町村・NPO・学校・企業等）の方々といかに協働関係を作っていくかが大切であると考えています。

今回は、「県民との対話を進めるファシリテーターになろう」をテーマに、まちづくりの達人NPO法人いわてNPO-NE Tサポートの高橋穂至理事を講師に研修会を開催しました。

コミュニケーションを通じて、県民の方々の様々な想いをうまく引き出したり、話を整理しながら、新たなアイデアを作り上げていくワークショップも実施。せっかくだからと土木関係をテーマにしましたが、同じ部の職員ということもあり、今ひとつ発想に広がりが出ず、行政だけで考えることの難しさ、様々な方々の知恵を引き出すことの大切さも実感しました。

■ 問い合わせ先

県土整備企画室

TEL：019-629-5846

